

指定管理者による公の施設の管理運営状況（令和6年度分）

施設名	茨城県鳥獣センター
施設所管課	県民生活環境部 環境政策課
指定管理者	（公社）茨城県農林振興公社
指定期間	R 6 . 4 . 1 ～ R 1 1 . 3 . 3 1 （5年間）

1 施設の概要

施設所在地	那珂市戸4336番6外
施設の概要	（1）面積：約 19,000 m² （2）主要施設：事務室、保護・飼養施設、展示施設、その他
業務内容	・施設等の維持管理業務 ・傷病鳥獣の保護・飼養等業務 ・鳥獣保護思想の普及・啓発等に関する業務 ・施設の利用の制限等に関する業務 ・その他、知事が施設の管理上必要と認める業務

2 職員の状況

常勤職員：	1 人	非常勤職員：	3 人	合計：	4 人
-------	-----	--------	-----	-----	-----

3 収支状況

令和6年度 (単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料	9,800,000	人件費（給与等）	7,167,239
利用料収入	0	光熱水費	472,810
自主事業収入等	0	租税公課等	
その他（利息等）	0	自主事業費	
	0	その他（事務費・修繕費等）	2,083,884
収入合計	9,800,000	支出合計	9,723,933

4 利用状況

	令和6年度実績	令和5年度実績	令和4年度実績
①年間利用日数(日)	308	310	308
②年間利用者数(人)	23,924	96,472	98,692
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	0	0	0

5 サービス向上に向けた取組み

- 隣接する植物園、県民の森を活用して専門家の協力のもと、猛禽類とのふれあいタイムを実施するなどして鳥獣保護の啓発に取り組んだ。
- 野鳥写真愛好家の協力を得て、展示室の野鳥写真を季節毎に入れ替えるなどして、利用促進に努めた。
- 中学生の職場体験学習を受け入れ、社会学習の場を提供した。
- アンケート箱を設置し、利用者からの意見、要望などの把握に努めた。

6 利用者満足度調査の結果及び対応状況

- 実施方法
鳥獣センター展示室にアンケート箱を設置。
- 調査結果
 - ①職員・スタッフの対応
大いに満足 43%、満足 17%、ふつう 20%、不満 2%、大いに不満 0%
 - ②施設全体
大いに満足 57%、満足 20%、ふつう 13%、不満 2%、大いに不満 0%
- 利用者からの意見等
 - 【良い点】
 - ・散策には最高に良かった。手入れが良くされていて、もっと施設の広報をすべき。
 - ・孫と一緒にこれからも来たいと思う。
 - ・フクロウやハヤブサを間近に見ることができるのは良い。
 - 【悪い点】
特になし
 - 【要望】
特になし
- 対応状況
特になし

7 管理運営状況の評価

評価項目	事業計画 (管理指標)	実績 (管理指標に対するコメント)	自己 評価	所管課 評価
維持管理	設備保守点検は、事業計画等に照らし適切か。	設備等保守点検資格業者に業務を再委託し、適切に管理している。また、設備の老朽化により更新計画の提案を行っている。	B	B
	整理整頓・清掃が行き届いているか。 (建物・植栽等)	適切に行っている。利用者が気持ちよく利用できるよう日々努めている。	B	B
	破損箇所の修繕は適切か。	日常の点検に努め、安全を第一に指定管理者で対応すべきものは適切に修繕している。	B	B
施設運営	使用日数、使用時間等は守られているか。	条例等に従い、適切な管理運営を行っている。	B	B
	予約・利用許可等、利用者への対応は平等・公正に行われているか。	細心の注意を払って、平等・公正な運営に努めている。	B	B
	創意工夫により、魅力ある自主事業の実施等、施設の利用拡大やサービスの向上が図られているか。	猛禽ふれあいタイムを開催し、施設利用者のサービス向上を図っている。	A	A
	利用者の要望を把握し、運営に反映させ、満足度を高めているか。	展示室に、アンケート箱を設置し、利用者の要望の把握に努めた。	B	B
運営体制	職員は適切に配置されているか。	適切に人員の配置を行っている。	B	B
	要望、苦情等への対応は迅速かつ適切か。県へ報告しているか。	対応は迅速・適正に行っている。内容により県への報告も適切に行っている。	B	B
	事故・災害等、緊急時に備えた体制は確保されているか。	職員の防災訓練 AED 等を実施し、緊急時に行動出来るようにしている。	B	B
	県、その他関係機関との連携は取れているか。	環境政策課、各県民センターなど関係機関との連携を図っている。	B	B
利用状況	利用者数の状況は、計画を達成できているか。	自然観察施設として、良好に利用されている。	B	B
	施設の稼働率は、事業計画に照らして適当な水準にあるか。	鳥獣の救護施設として適正に執行できている。	B	B
収支状況	収支計画が適正に執行されているか。	年間の計画に対して適正に執行できている。	B	B
	経費削減に向けた取組みがされているか。	需用費などの経費節減に努め、必要な経費については適切に執行した。	B	B

【総合評価】・・・各評価項目及び施設の性格・特殊性を考慮した総合的な評価

○飼育施設の定期的な清掃や除草作業など、施設の維持管理が適切に行われている。また、利用者からの問い合わせには迅速に対応するなど、利用者の満足度向上に努めている。

○隣接する植物園における猛禽ふれあいタイムの実施など、近隣施設と連携した鳥獣保護思想の普及啓発を行っており、サービス向上の工夫がなされている。

以上のことから総合的に判断し、良好な状況であると評価できる。

※ ・実績（管理指標に対するコメント）欄については、指定管理者が記入する。

・総合評価欄については、所管課が記入する。

・自己評価、所管課評価欄について

評価	評価基準
A	事業計画を上回る成果があったもの
B	事業計画どおりの成果があったもの
C	事業計画を下回っており、改善努力が必要なもの